

YU 夢 YUME

妻に先立たれて八年、ずっと一人生活が続いた。入居する前は愚息達二人に何度か同居するよう、勧められはしたものの、私が厄介になれば、できる夫婦喧嘩もできなくなる、という私の本位に背くと言って断り続けてきた。でも私の頭の中には、やがて理想的なホームを探して・・・という気持ちは確かにあった。

ちょうどその頃、友人三人で箱根の日帰り旅を楽しんでの帰りに、電車の中で見た雑誌の中にこの園の写真入りの広告を目にした。何かこころ騒ぐものがあった、翌日の朝一番で当園の説明を聞きに行くことになっ

た。

その前に、この園の立地条件であるが、箱根湯本駅手前、入生田駅から歩いて一五分、シャトルバスがあり、電車が到着する時刻にほぼ合わせて発着する。しかし私は園より駅までの下り坂は、できる限り歩くことにしている。私の足で約一五分の距離である。園の附近は一面立ち木に覆われているせいであろうか、空気がこのの外心地よく、景色も東に相模湾、西に箱根連山を仰ぎ、景観は申し分なく身体の癒しにも最適であり、理想的なホームのように感じられた。

次に考えたのは、長寿園の沿

革である。先代の理事長が、ご自分の住んでおられた木造の居宅に老人二〜三人を受け入れ、お世話し始められたのが、始まりとかで、今という老人ホームの草分けだと聞き及んでいる。

また、現理事長もイギリスの大学の福祉科で学ばれ、大学院まで卒業、お父上様の後継者として現在に至っておられ、さらに全国有料老人ホーム協会の理事をも兼任されていらっしゃるということ。また、今年の春頃には三代目のご息までが入職、理事長の背中を見ながら次に来る理事長職の勉強に励んでおられ、誠に心安泰である。

その後、二度、三度通った末の、昨年九月一四日付けで入居の運びとなった。

さて、そこで「終の栖」が決まってからの生活であるが、私は両親に早く死別された。中学

〈次ページに続く〉

**入居二年を
顧みて**



入居者
劔持 和二

も く じ

入居二年を顧みて……………1
 小田原鉄道小史……………3
 世界にも目を向けて……………4
 感染症対策・浴場リニューアル……………5
 長寿園の日々……………6

長寿園理念

「人生の目的は円満幸福の生活にある」との信念に基づき
 高齢者がそれぞれ円満で幸福な生活ができるよう所要の協力と支援を行うことにより社会に貢献します。

【発行所】
一般財団法人 長寿会
 小田原市入生田475
 TEL.0465-24-0002(代)
 発行人/加藤 伸一
 編集/「夢」編集委員会

の一年生になった頃、兄弟四人は祖母に育てられた。そのため貧乏生活は当たり前で、肉体労働の日が続いた。そのせいであろうか？今もって足腰の痛みもなく、有難い日々を送っている。とは言え、齢には勝てぬ日がやがて来るだろうが、その時は決めた目標のハードルを下げながら生活すればよい。良かれと思つた事を実行し、悔いのない一生を強かに生きてみたいのが私の希望である。縷縷書ききたが、入居一年を過ごした今日、私の考えの一端を述べた次第である。

入居一年目の目標

ある本を読んで肝銘した。生きるための三原則

一.「食」

当園には管理栄養士の長谷川さんが勤務しておられ、栄養面

長寿園、
歴史の重みひしひしと、
いや栄えませ、
入生田の森に
(入園の日に想う)

はきちんと管理して下さっているので心配ない。しかし、外食する際は、できる限り菓食を主体とするように心掛ける。また、甘い菓子類は極力控え、どうしても食したいときには、バター等の混入されている洋菓子等は口にせず、和菓子とする。

二.「運動」

(イ)朝九時から始まるラヂオ体操には毎日参加し、身体をできる限り柔軟にする。
(ロ)昔より老は足より来るといふ。一日八千歩、最低でも五千歩は必ず歩く。

三.「癒し」

当園は周囲が緑の樹木に覆われ、前記したように近くには箱根の山々が聳えているため、癒しには最適である。
以上三原則

最近、特に人と話す声が小さくなってきた。老人特有なものである。防止するための二題

(イ)都内、神楽坂に詩吟教室(岳精流日本詩吟宗家横山精真先生を宗家とした教室)一ヶ月二回、一回二時間教室。

(ロ)小田原市内に教室がある、本の朗読教室で一ヶ月一回、二

時間教室。

惚、防止に役立てること二題

(イ)過日、ソプラノ歌手である橋本京子先生のコンサートの際に、先生が教えて下さった「幸せなら手をたたこう」の歌に合わせて行う運動。
(ロ)以前、某作家が現役の頃、一日一通、葉書または封書を友人、知人に書いている話を聞いた。私も早朝起床後、できる限り早い時間に書く。

継続は力 を念頭に。

以上



朝の体操の様子

俳句

立礼の茶会や久し桜寿亭
田中和子

秋草を小さく活けて
お茶を淹れ 青木千代

そぞろ寒小田原城に菊薫る
小池怜子

※立礼：りゅうれい
椅子と卓を用いて茶を点てる点前

短歌・俳句募集

次号一二〇号に向けて、ご入居者の皆様に「短歌」「俳句」「川柳」を募集いたします。

詩の原稿は受付又は椎名までお持ちいただければ幸いです。

夢編集委員会



小田原鉄道 小史



理事長 加藤 伸一

私は小田原で生まれ育ちました。小田原には多くの歴史があります。今回は、小田原の鉄道小史をご紹介しますと思います。

長寿園のある入生田という地区は、江戸時代の東海道沿いにあります。国道一号線と並行して通称「旧道」と呼ばれているのが、旧東海道です。最近では、歴史探訪のグループがたびたび訪れ、当時の面影をたどっています。旅人は小田原宿を早朝に出、箱根山を一気に超え、その晩は三島宿に泊まるというのが一般的であったようです。箱根山は西との重要な分岐点であったために、この辺りは昔から数々の歴史の舞台になってきました。

さて、時代が明治になり、明治五年に鉄道が初めて新橋・横

浜間に敷設されました。その後、国府津まで延びたのが明治二〇年でした。



「小田原の原風景」より

明治になってからは、寂れる一方であった小田原に何とか活気を取り戻そうと小田原・箱根

の経営者有志が考えたのが京浜地帯からの観光客を呼び込むことでした。そして、作ったのが国府津・湯本間の馬車鉄道でした。地方ではかなり早い時期のものであったようです。その後、明治三十三年に馬車鉄道は電気鉄道（路面電車）に代わりますが、日本で最初の電車は、明治二八年に京都、次が三年の名古屋でそれに次ぐもので、非常に画期的でした。ちなみに東京は明治三六年です。また、明治三四年には、芥川龍之介の「トロッコ」で有名な小田原・熱海間の「豆相人車鉄道」ができました。（写真下）これは、人間が線路の上の客車を押すというものです。のちにこれは軽便鉄道になります。小田原の駅は現在の南町国道三号線沿いの歯医者さんのあたりです。（写真上）

大正一二年には熱海線が開通し、小田原駅は現在の場所に塔のついた煉瓦造りの立派なものになりました。大正八年には湯本・強羅間に初めての山岳鉄道である箱根登山鉄道が開通しました。大正一四年には、大雄山最乗寺参詣用の大雄山線が開通、昭和二年には小田急が開通

し、小田原は四本の鉄道の発着する一大都市となりました。

日本でもかなり初期の段階に小田原にこのような交通が発達したのは、地元有志の熱意もありましたが、箱根熱海という観光地があったからでしょう。お蔭で明治時代から大正にかけては伊藤博文、山形有朋や、多くの政財界や文学界の著名人が別荘や別邸を設けました。

そんなことを思いながら小田原の街を散策するとまた一味違う出会いがあるかも知れません。



「小田原の原風景」より

世界にも目を向けて

「和の会」の活動

今年も四月の定期総会に多くの会員のご参集を頂きました。総会では二年任期の役員のご改選があつて、選出された新世話役による活動が始まりました。

世話役副代表 高津 學

四月五日、総会の翌週には「長寿園創立六〇周年記念」の大きな祭典、祝賀の会がスケジュールされていきましたので、役員会では早速、「全員記名の額」の作成に取組み、皆さんに順次お祝いの心を込めた記名をして戴きました。その他お祝いや、記念のさくら植樹の準備をして、晴れの記念式典で、船場代表から贈呈と祝辞を申し上げます。



祝賀会が大成功に終わって、二四年一〇月に始めた毎月の「ふれあいの会」の開催など親睦、愛の雰囲気づくり、より良い生活環境づくりの活動を進めています。

掲示板には、会員さんの移動、会の開催、その他の企画、お願いなどのお知らせをしています。

みなさまの協力を通じた今後の躍進

介護用にお役立て頂いている古布の回収、今回は新たに古新聞の提供もお願いしています。皆さんの積極的な協力を戴いて、現場で喜ばれています。

この他には、東北震災で行ったように、台風で大きな災害のあった広島に支援の募金をお願いしましたところ一万八千五百円也の支援金を戴き、掲示のように郵便局から広島義援金当てに送金しました。

また後進国の子供の流行病予防のワクチン接種支援に、ペットボトルのキャップの回収をお願いしています。既にご協力をお願いしていますが、引き続き未来ある子供たちの為によりしくお

願います。

C棟介護棟の皆さんとは交流が少なく、こちらから出かけてお話しのお会を持つて、戴いたご意見は、改善に生かしています。

これからも世話役一同、努力してまいりますので、ご協力ねがいます。また老いをより良く生きることや、支援活動などにも関心をもって行きたいと思っています。

今期は船場徹、高津學、田川富子、小池怜子、前田好子、剣持和二の六人が世話役をつとめます。



※和の会とは約五〇年間続いている全入居者の親睦団体です。

感染症対策委員会は、各部署代表の職員で構成され六名の委員が中心となり活動しています。職員全員に、感染症に対する知識や、マニュアルに基づく予防対策等を周知し実践に結び付くような研修や指導方法を考へ行っています。ご入居者の皆

様と職員が、つらい感染症にからないようにする為には、感染症のもととなるウイルスを持ち込まないことが基本と考え、職員一人一人の意識付けに重きを置いています。また、ご入居者の皆様にも、協力して頂くため、夏の時期には食中毒予防教



感染症〇を目指して 日夜努力しています

ゼロ

感染症対策委員会



職員研修「感染症予防講座」

室や手洗い週間を設け、食中毒予防方法や正しい手洗い方法等をお伝えしています。これからの時期に猛威をふるうのが、インフルエンザとノロウイルスです。こちらの対策につきましては、委員会が代表して外部研修で情報を収集し、職員研修はもちろんのことご入居者対象の予

防教室も毎年実施しております。今年も、感染症発生ゼロを目指して、委員会、職員、ご入居者が一丸となって予防対策に努めていきたいと思えます。ご来園の際には、ぜひ手洗いと消毒のご協力をお願いいたします。

箱根最新スタイルの浴場に変身

九月下旬に大小浴場の改修工事が完了致しました。

工事期間中はご入居者の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたが、ご理解と協力をいただきありがとうございます。

材料は濡れても滑りにくい十和田石を使用。色味は明るく、お湯に濡れると色に深みが増してきます。窓は素通しで坪庭が見えるようになってきます。もちろんプライバシーは確保されております。ご入居者の皆様には、より快適に安全で安心して入浴して



頂けるよう配慮致しました。ゆったりと湯に浸かっただけ、一日の疲れが少しでも軽くなれば幸いです。

施設維持管理係

長寿園の日々



- 八月 二日 夏祭り
- 八月 二〇日 蓄音機を楽しむ会
- 九月 八日 お月見会
- 九月 一〇日〜一六日 敬老週間 作品展
- 九月 一日 クラブ活動発表会
- 九月 二日 歌を楽しむ夕べ
- 九月 三日 キネマデイ
- 九月 五日 祝賀式典・アトラクション
- 一〇月二五日 秋のバイキング



編集後記



九月に行われた全米オーブンテニスでは、錦織選手が日本人初となる準優勝を果たしました。また、サッカー日本代表については、アギーレ新監督の下、若い選手六人が初代表に選出され、わずか二試合で得点を挙げるなど、成果を残しております。

長寿園においても若手職員の働きはしっかりと戦力として結果を残しております。これかも若手とベテランが一丸となって、長寿園の発展に努めてまいります。

二〇一四年(平成二六年) 二月
「夢」編集委員会